

我孫子市地域公共交通計画（案）についての 意見募集（パブリックコメント）結果の公表

お寄せいただいた意見及び意見に対する市の考え方を公表します。

■ パブリックコメントの結果

我孫子市地域公共交通計画（案）についてパブリックコメントを実施したところ、次の結果になりました。貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。

- 1 募集期間 令和7年5月16日から令和7年6月15日
- 2 提出人数 6名
- 3 意見総数 34件
- 4 公表場所

交通政策課、行政情報資料室（市役所本庁舎1階）、各行政サービスセンター、生涯学習センターアビスタ、湖北地区公民館、市民プラザ、我孫子市民図書館湖北分館及び布佐分館、各近隣センター、我孫子市ホームページ

- 5 意見公募した内容

我孫子市地域公共交通計画（案）（ホームページ参照）

- 6 意見と意見に対する市の考え方

整理 番号	提出された意見		意見に対する市の考え方
1-1	意見	高齢者や障がい者の外出促進や移動のしやすさに資する具体的な施策が必要であると考えます。 計画案の第7章7-3交通施策の基本方針において、「・高齢者等の外出促進と移動のし易さを実現する公共交通サービスの提供」と明記されていますが、第8章「計画の目標」や第9章「目標達成のための実施事業」においては、高齢者等の外出促進や移動のしやすさに資する施策として、あくまで多様な主体の連携による地域公共交通の活性化策としてすでに実施中の高齢者等外出応援事業（病院、教習所、福祉施設等の送迎バス等の利用）について現状維持することが触れられている程度です。 我孫子市の高齢化の一層の進行を鑑みれば、より積極的に新たな地域の輸送資源を確保し、それ	本計画に記載されている高齢者等外出応援事業（病院、教習所、福祉施設等の送迎バス等の利用）については、地域の高齢者や障害者の移動支援として重要なサービスであるため現状維持を考えており、今後も地域の資源を活用した取り組みを研究し検討していきます。 また、低床バスやバリアフリータクシーの導入など、高齢者や障害者も含め誰もが移動しやすい公共交通サービスの提供に取り組んでいきます。

		を活用した高齢者や障がい者といった移動に困難を抱えるものに対する具体的な施策を検討していく必要があると考えます。	
	理由	第6章 問題解決の方向性において、(1)我孫子市の現状に基づく公共交通の課題とその解決の方向性として「○高齢者の外出促進や移動のしやすさに資する施策を検討します。」とされ[P. 66]、さらに第7章7-3交通施策の基本方針において、基本方針2利便性の高い地域公共交通の実現として「・高齢者等の外出促進と移動のし易さを実現する公共交通サービスの提供」と明記されており[P. 70]、我孫子市における高齢化の一層の進行を見据えた方針として強く賛同します。 しかしながら、同章の各基本方針に関する具体的な説明として、基本方針2に関しては「○移動のし易さを実現する公共交通サービスの提供」と表記され、[P. 72]、ここまで明記されてきた「高齢者等の外出促進」の記載がありません。 さらに、第8章 計画の目標では、基本方針2に関する目標4、5及び6として、JR成田線に並行して運行するバス路線の運行・再編や、同線の終電対策及びバスとの乗継改善が記載されているのみ[P. 78～79]で高齢者等の外出促進の観点からの目標設定はなく、同様に、第9章 目標達成のための実施事業においても実施事業4、5及び6として JR 成田線終電後の深夜時間帯の公共交通の導入や同線を補完するバス運行、乗継改善に限られ、高齢者や障がい者の外出促進の観点から検討された事業は確認できません[P. 87～88] 本計画において、課題と解決の方向性、基本方針として設定している「高齢者等の外出促進や移動のしやすさ」については、我孫子市が将来像として定義する「地域が支える 誰もが便利に移動できる まちの活性化に寄与する 公共交通」[P. 68] から考慮しても重要な視点であるにもかかわらず、原案の実施事業として関連するものとしては、多様な輸送モードの取組みとして既に運用	

		されている「送迎バスの空席を利用した高齢者等の外出支援事業」について「現状維持」を目標としている程度であり、高齢者や障がい者の外出応援としてより積極的な計画の目標や目標達成のための実施事業が必要であると考えます。 なお、その検討にあたっては JR 成田線沿線のみならず、市内の他の地域も視野にした上で、高齢者や障がい者が日常生活の範囲内での生活拠点間を便利に移動しやすくする観点も必要であると考えます。	
1-2	意見	多様な主体が連携し、地域公共交通を活性化させる具体的な施策が必要であると考えます。 公共交通の担い手不足の解消や採算性の改善、限られた財源の有効活用といった観点から、近隣市を含む全国各地で検討・実施が進んでいるように、既存の公共交通機関の枠にとらわれない多様な主体の連携による新たなモビリティサービス（オンデマンド型の予約制交通や低速・小型電動車両によるグリーンスローモビリティなど）の導入に向けた研究や実証実験、関係者による協働の場の設置など、我孫子市の置かれた状況に即した公共交通に関する具体的な施策を検討していく必要があると考えます。	グリーンスローモビリティ（グリスロ）は、走行速度が約 20 km/h 程度で定員が 8 名程度とあびバスの 25 名よりも少なく、また、グリスロを導入している多くの自治体では地域住民が運行を担っており安定した運行が難しいこと、運行本数が少ないことや運賃を徴収しないことによる既存の公共交通の運営への影響等、公共交通としてグリスロを導入することには様々な課題があると考えています。 オンデマンド交通については、予約の煩わしさから利用者が限定される傾向があり、誰もが安全かつ便利に移動できる交通環境として、現時点ではオンデマンド交通の検討は行っておりません。
	理由	第 7 章 7-3 交通施策の基本方針において、基本方針 5 「多様な主体の連携による地域公共交通の活性化」に「各主体が自分事として捉えた地域公共交通活性化の取組と、そのための積極的な働きかけ」と掲げられている [P. 70] とおり、将来わたって持続可能な「誰もが安全かつ便利に移動できる交通環境」（第 1 章 1-1 計画作成の趣旨及び位置付け）のためには、これまでの枠にとらわれない多様な主体の関与とその主体的な行動、それに向けた行政による積極的な働きかけや関与が求められるものであり、その方針については強く賛同します。 この多様な主体が自分事と捉えた地域公共交通への関与や主体的な行動により、基本方針 1 で掲げられている「担い手不足の解消」といった課題	

		解決にも資するものと考えられ、行政も、自治会等の住民組織、NP0 やその他の団体、(公共交通機関だけではない) 企業、大学等、地域社会の多様な人材・資源を有効活用することで、より包括的な取組みを可能にするものと考えられます。 これに対し現案では、第7章 基本的な方針の説明において「○各主体が自分事として捉えた地域公共交通活性化の取組と、そのための積極的な働きかけ」として、「関係する主体(行政、公共交通事業者、市民)が連携して取り組んでいきます。」[P.75]とされ、具体性のない記載にとどまっています。 また、第8章 計画の目標や第9章 目標達成のための実施事業においても、市民やその他の組織等が互いに連携したり、行政として共に取り組んでいくといった記載はありません。 行政からの働きかけや意識醸成とともに、市民等の多様な主体による主体的な取組みを前提にしつつ、それらと連携して、例えば、新たなモビリティサービス(オンデマンド型の予約制交通や低速・小型電動車両によるグリーンモビリティなど)の導入に向けた研究や実証実験、関係者による協働の場の設置などの取組みを具体的に行うことで、利用ニーズに沿った交通の確保と併せ、担い手不足や財政上の課題の解決、ひいては持続可能な地域公共交通の構築に資するものと考えます。	
2-1	意見	あびバスの運賃は値上げしないで下さい。 運行本数を増やして下さい。	人件費や燃料等の高騰に伴い、令和6年度のあびバス収支率は29.3%と、7割を市が負担している状況から、4月1日から運賃を150円から200円に改定しました。あびバスを持続可能な公共交通とするためには、適正な収支の改善が必要になります。 また、あびバスは1ルート1名の運転士と1台のバス車両で運行しています。運行本数を増
	理由	利用者の多くは高齢者です。年金生活者です。暮しは厳しいです。 現状では、外出機会を減らしてしまいます。	

			やすには、さらに1名の運転士を増員する必要があるため、運行経費の大半を市が負担している状況から、運行本数を増やすことは財政的に難しいと考えます。
2-2	意見	成田線の増便をJRに働きかけて下さい。 一時間当たりもう一本増を。	上位計画の総合計画で、成田線の1日の往復本数を令和2年度の現況値40本を令和9年度には42本とする目標値を掲げています。
	理由	一時間に3本になると、利用者も増えると思います。	
3-1	意見	36頁 電動車の導入は、既存の公共交通機関の補助的なものとして、小型な車両で行ってはどうでしょうか。 大型の電動車は殆どないため。	ご提案いただきました内容については、電動車の導入にあたり参考とさせていただきます。
	理由	なし。	
3-2	意見	44頁 我孫子駅の終電時間を「満点の湯」に貼ってほしい。 帰る時間を間違えてタクシーで帰ったことがあります。	市民ニーズを把握し、今後も取り組んでいきます。
	理由	なし。	
3-3	意見	57頁 我孫子市は坂道が多いから、バスが便利です。	市民ニーズを把握し、今後も取り組んでいきます。
	理由	なし。	
3-4	意見	70頁 持続可能な運賃基準の設定はワンコインの方が使いやすい。 水素自動車を導入する時は、大型車ではなくても、観光面などで利用されるため利用頻度は多くなると思います。	市民ニーズを把握し、今後も取り組んでいきます。
	理由	なし。	

3-5	意見	75頁 車内と図書室とへ、バスのルート図や時刻表をおいてほしいです。とりに行くまで遠いため。	市民ニーズを把握し、今後も取り組んでいきます。
	理由	なし。	
3-6	意見	77頁 一般の方にわかりやすいよう、バス全体の路線図を作成してほしい。あびバスがどの地域を走っているのかわかりません。	本計画書の実施事業8で、路線バス、コミュニティバス、タクシーの情報が網羅された公共交通総合マップの作成を計画しています。
	理由	なし。	
3-7	意見	83頁 あびバスは小さいため、運賃は100円で良い。また、回数券は乗り継ぎできるようにしてください。多くの人が利用すると思います。	あびバスを持続可能な公共交通とするため、収支の改善が必要となり、令和7年4月1日からあびバス運賃を200円に改定しました。そのため、運賃を100円にすることは大変難しいと考えます。また、回数券は上記の運賃改定時に廃止しましたが、あびバスには乗継券があります。駅等で別ルートに乗り換えを行う場合に運転士から受け取ることが出来ますので、ご利用ください。
	理由	なし。	
4-1	意見	利用者数を増やす案としては、数十年前から現在では、外国人（アジア系）の方々の住民が多くなっています。その方々も、安心安全な公共交通機関の一つとして、（バス）の利用を推進すべきと考えます。そのため、意見としては、（数年間の実証実験として）停留所や、バス内または、市役所へ来た時を狙って、（宣伝）するように、施策をすることが急務です。「実証実験とは、時間や場所を特定して、行うこと」が必要です。ね。「宣伝の言葉は、外国語」です。ね。	公共交通の利用者を増やす案として、ご提案いただきました内容を参考とさせていただきます。
	理由	外国人が、新しいところ（日本）にきて、数年間住民として、生活をするのであれば、公共交通機関を利用していただくことが必要であると考えま	

		す。システムを理解して運用していただくことが必要です。良い施策でも、理解して運用が進まないと、良い施策ではなくなります。	
4-2	意見	収入を増やす施策として、現時点では、1日中同じような込み具合で、乗客が始発から終点まで乗車していることは、データで示されているように、乗客の「スペース」が空いている時間や区間があるのではと考えます。 そのため、空いている時間及びスペースを活用することの一つに、人と他に「荷物を搬送」することも、必要であると考えます（実証実験として数年間行うことが必要）提案としては、【空きスペースを活用し荷物の搬送をする。】	ご提案いただきましたバスの空きスペースの活用案について、今後の参考とさせていただき、より良いサービス向上のために努めていきます。
	理由	空きスペースを埋めることが必要（実証実験として）であり、チャレンジをする、検証結果をもって、再度提案修正をする（荷物搬送）については、先日、JR新幹線で実証済。この手を利用することが、スペースを少なくして、サービス向上をなり、収入も増えることとなります。提案として、「搬送パッケージ」の箱型の物を、場所を特定して、受取り、受け渡しする。以上で、スペースの空き解消へとつながります。利用料金が収入です。	
4-3	意見	今の公共交通機関（バス）をより、利用しやすくしていく方法に（実証実験として）全区間と同じ料金（一つの料金）とすると、少し遠くなっても、同じ料金であれば、乗客の感情としては、便利になります。近くから遠くへでも、同じ料金へと、チャレンジをお願いします。もちろん、事前宣伝が必要ですね。	あびバスは一律200円で運行しています。なお、布佐ルート実証運行バスは天王台駅北口から布佐駅南口まで運行距離があびバスと比較して長いことから、一律の料金ではなく乗車した距離に応じた区間運賃としています。また、利用者にアンケート調査を行ったところ、「運賃が高くても路線を維持してほしい」との声が多くあったことから、運賃について、一定のご理解をいただいているものと考えます。
	理由	乗車する場合の料金が、従量制としていますが、もちろんこれは、理解できますが、遠くまで行こうとの気持ちが湧きません、同じ料金であれば、少し遠く移動しても、同じ料金ため、お客様には、お得感が発生します。分かりやすい言葉での「宣伝」が必要です。 例えば、隣の停留所の近くに、良い店があった場合は、足を延ばしやすくなります。 運転手さんも、少ない人数を搬送するよりも、	

		より多くの乗客を搬送する方が気持ちの高揚感も発生すると思います。	
4-4	意見	皆さんが、調べているデータをみると、ある区間、また特定時間帯に対して、乗客さんが、少ない所や、時間帯が有ることがわかりました。そのため、(実証実験として)ある特定区間や、有る時間帯(昼間時間帯)を特定(することが必要)して、乗車する場合は、今現在の停留所から乗車するとして、降車については、自由に降車出来るようにすると、よりサービスの向上に繋がると考えます。	ご提案いただいた「フリー乗降方式」によるバスの運行につきましては、バス停留所以外の路線上の安全を確保できる位置でバスに乗降できる制度で、交通量が少なく、安全に停車し、乗降ができる箇所に限定して、フリー乗降区間を設けて運行を実施しているケースがあります。実施には、運行事業者の同意のほか、交通量の問題等総合的に勘案して、道路管理上と、警察の交通安全上の許可を得る必要があります。 なお、あびバスを利用される大半が高齢者である本市の特性に応じた運行方法について、国、県をはじめ交通事業者、運送事業者と協議しながら事業改善に努めていきます。
	理由	これから、乗車する方々は、今より、高齢化が進みます。そのため、乗車する場合は、自宅から、今の停留所までは少し、元気に歩くことができるが、用事を済ませ、自宅へ戻る時には、疲れることが多いため、少しでも自宅に近い場所で降車が出来れば、【料金が同じであればもっと良いのですが】乗車人数も増加になると考えます。将来の事も考慮した布石をお願いします。	
4-5	意見	料金体系ですが、1日のうちで、例えば、①停留所から乗車し、②停留所で、降車するとした場合の片路切符ではなく、②停留所から乗り、①停留所で降りるような、「往復切符を購入」した場合、少し料金を下げる(安価になる)ことへの対応をすると、お客様は、サービス向上又は安価に感じますので、結果的には、乗客数の増加につながるのではと考えます。(実証実験として、数年間実施する)	ご提案いただいたサービス向上のアイデアについて、今後の参考とさせていただきます。
	理由	よく、JRでも、片路切符と往復切符では、料金が少しでも違って安価になっていますので、これをまねてはいかがでしょうか。 片路よりも、往復を購入したほうが、お財布にも優しい。また電子的カードに対しても、(チャレンジ)相談をしていただき、時期はともかく、幾分かの電子的お金を戻すことが出来るのではと考え	

		ます。	
4-6	意見	実証実験として、有る区間にたいして、停留所数を増やしてはいかがでしょうか。例えば、】今の平均距離の5割から6・7割程度の短くすることにより、乗車する人員が増かすると見込まれます。便利になりますね。	ご提案いただいた利用者を増やすアイデアについて、今後の参考とさせていただきます。
	理由	高齢者になっても、出歩く楽しみ等が増えることが必要であり、そこを担っている公共交通機関（安心安全）であるため、No. 4 と合わせ技で、お願いします。	
4-7	意見	最終バスの利用時間についての提案です、JR 等の最終電車の時刻に合わせて、特別な季節の例えば、Xmas などには、「深夜ミッドナイト安心ホームバス」と称し、JR の最終時間より約30分程度後に、発車することとして、安心安全に自宅に、帰宅が出来ることにより、少し、遠く回っても、少し、料金が通常より高額でも、収入もアップしてもお客様は付くと考えます。なお、この時のみの、料金は2分制として、丁度、半分の距離に対して、全体の7～8割程度の料金として、それ以上の距離には、全額とする。・・・夜間料金は、高額が当たり前です。	運行時間を深夜まで延長することは、運転士不足や運行経費からも大きな課題となっています。 ご提案いただいた最終バスの利用時間への新しい視点やアイデアについて、今後の参考とさせていただきます。
	理由	確実なお客様を確保するのであれば、予約を考える事も良いのではと考えます。例えば、年末年始の時や、各節句(1/1、3/3、5/5や7/7や9/9等)の宣伝(子供の日・母の日・敬老の日等)をすると、お客様は、予定をする。収入の向上に繋がるのではと考えます。	
4-8	意見	色々なアイデアについては、「乗りたくなるバス」へのアイデアを、教えて頂く事で、実証実験と称し実験する。 そのアイデアを提出依頼する相手は、幼稚園から小学生・中学生や高校生や大学生等へ学校を通じて、また、通勤時に利用するお客様へも依頼をする。提出されたアイデア数により、お礼をする事とする。【集合し	ご提案いただいた「乗りたくなるバス」のアイデアについて、今後の参考とさせていただきます。

		た提案内容数については、10件が提出されましたら、切符の金額の1割を安くする。30件が提出されたら、1.5割程度を安くする等です。】提出者の基本的情報を受け取る。アイデアは、色々な方を選びすぐり、チャレンジをしてみる。	
	理由	興味が持つものについて、認めて頂けるとうれしくなり、興味をよりもって頂けるのではと考えます。アイデアは内容よりも数量を出して頂けると良いと考えました。 そのため、毎年アイデアコンテストを行い、アイデア対決をしてより良いアイデアに対しては、表彰をする事。・・・アイデアを受け取り、よりよい実現に向けて検討をする。	
4-9	意見	乗るバスの車体を楽しむ方法として、自分の書いた絵(図)等がバスに描かれているアピールをすると、楽しいのではと考えます。 幼稚園生・小学生・中学校生等の絵を車体の外側に、描くと少しでも楽しくなるのではと考えます。(実証実験的にチャレンジを)乗車するきっかけに繋がります。表彰時には、親御さんや、3組程度の友人も、一緒に、乗車を出来るように(招待を)考慮する。	ご提案いただいた「乗るバスの車体に自分の書いた絵を描く」というアイデアについて、今後の参考とし、より良い公共交通サービスの提供に取り組んでいきます。
	理由	どんなアイデアでも、チャレンジをしてみましょう。	
4-10	意見	運転手の区間を調整する。区間を、場所あ：～い～う～え～お、までとすると、aさんは、場所あ～うまでで、Bさんに交代し、Bさんは、う～おまでと、その後、お～うまでとして、cさんに交代して、cさんは、う～あまで、とし次にcさんは、あ～いまでとするなど、それまでのあ～お お～あまでの様に長距離を続けて運転をしないように距離を短くする。	ご提案いただいた「運転手の区間を調整」のアイデアについて、今後の参考とし、より良い公共交通サービスの提供に取り組んでいきます。
	理由	車両の運転者の働き方改革の一つに、以前長距離トラックの運転手さんの働き方改革をした結果、以前より、効率及び健康に繋が	

		ったとの事です。途中の交代する区間は検討をするとしても、少し運転をしたら、交代ができる(もちろん勤務内期間ですが)	
4-11	意見	気持ちを高揚する色の中に、オレンジやピンクがあります。車体外側や、椅子や手すり等を、オレンジやピンクに塗り、予約等も考慮してよい匂いを検討すると、(特別車両として)楽しく(音楽等の披露が出来る)乗る事が出来るようにして欲しい。	バス利用者を増やす案として、ご提案いただきました内容を今後の参考とし、より良い公共交通サービスの提供に取り組んでいきます。
	理由	収入を増やすためには、今より楽しく乗車することができ、目的(乗車するお客様の心の楽しさ)を達成する事が出来れば、収入が増えると考えます。	
4-12	意見	我孫子市には、色々な歴史があり、景色があり、楽しんで歩くこともできる。その案内資料としては、例えば「〇〇八景」等や、我孫子市歴史を勉強している方々もボランティアで居ます。この方々の知識をお借りして、我孫子市の地域を「歴史探索バス散歩」等のバスを各節句に合わせた、特別対応とすると、結構そのバスを利用する方々が、発生すると考えます。(ボランティアでの歴史探求員等の説明による特別バス)この情報を通常時に一般のお客様へ提供をすることにより、より多くのお客様が増加すると考えます。	ご提案いただきました案について、公共交通とは異なりますが、我孫子市の魅力を発信する機会として今後の参考にさせていただきます。
	理由	今回の資料については、色々な現状のデータを取っていたことは、ご苦労様でした、しかし、これは、過去の情報ですね、ここから、収入を増やす又は、乗客が楽しんで乗って頂く事としては、無かったように思われます、そのため、バスに乗るには、「目的」をもって乗って頂くこととすると、幾分かの楽しさが発生し、再度乗車しようとする気持ちを高揚するのではと考えます。「目的」をもって活動をする等、楽しみを増やすことが必要ですね	

4-13	意見	バスを電気自動車としての、一つ提案ですが、バスの天井外側に、太陽電池パネルを取付て、車両の各座席には、コンセン等を設備しておく。又は、これからの夏及び冬にも「熱中症」対策のため、お客様(乗客へ)に対して、ペットボトルによる、『冷たい水』を用意して置き、乗ってきたら、ペットボトルを渡す。・・・サービス向上の一環として、(期間や時間や厚さ指数等)を考慮して行うことにより、乗客が増加すると思います。色々なサービスを提供しましょう。 ※提供するサービス提供時間帯は、11:00～14:00頃まで また、同時に、『暑さ指数』28℃から31℃以上を考慮する。	ご提案いただきました内容を今後の参考とさせていただき、サービス向上のために努めていきます。
	理由	普通の有る区間、場所を決まった時刻を守りながら、安全に搬送することは、或る意味、最も大事です、しかし、その他に、運転者もお客様も、同時に楽しくなるような、施策を行い、サービス向上につとめると、お客様も、乗車をしていただく事を出来ないかと考えた次第です。 エアコンだけ行っているだけでない、サービスをお願いします。	
4-14	意見	団地区間については、停留所を多くしてください。 特急バスや急行バス等を作ってください 利用者のサービス向上のため、検討してください。	市民ニーズを把握した上で、必要に応じ慎重に新たな公共交通の導入を検討していきます。
	理由	乗客を増やすことを考慮した結果です、平日や休日等においてもお客様は増えるのではと考えます。	
4-15	意見	我孫子市と市境を共通としている各市町村と事前に打合せを行い、例えば、印西市の有る場所を、共通の停留所として下さい、そして、印西市のバスもそこに対して、時間を調整して、我孫子のバスから印西市のバスの乗り継ぎをスムーズに行えるようにして	我孫子市と印西市を結ぶ印西市ふれあいバス布佐ルートが運行しています。 また、布佐ルート実証運行バスが令和7年10月1日から布佐駅南口から布佐駅東口にバス

		いただきたい。自家用車を頼らずに、より便利に移動することが出来れば、もちろん、荷物も移動をしていただくことですね。サービス向上へ繋がり、A:印西市の公共交通機関の収入も増加する、B:我孫子市の公共交通機関の収入も増加、C:お客様は、サービス向上で喜びが増加する事となる。三方一両得ですね。	停の設置箇所を変更するため、乗継がスムーズになると考えています。
	理由	以前、TV で見ましたが、急行バスではない、路線バス旅ですね、隣との境界が繋がらない事が一般的かもしれませんが、境界がバスで繋がると、よりよいサービス向上となる。皆様が調べて頂いたデータから判断すると、隣の市町村との協定を結び、電車や今後高齢化が増える事へのため、高齢者のための施策を隣の市町村と共同的な問題ととらえて、検討をした方が良いのではと考えました。 先日も、高齢者が運転をして、事故になっていました。少しでも、安心安全な公共交通機関としての役目をはたして頂きたいのです。	
4-16	意見	今後の乗客様を大事にしてください、今の停留所は、屋根やベンチはありますが、日本には、今のところ、四季が無くなりつつあります。今後は、暑さが強く、また冬などの風が強い等があるため、もっと停留所を充実させて頂きたい。例えば、停留所の屋根を大きくして、太陽電池パネルやベンチを増やす等をして、冷却ミスト等や、バスの運行の前後情報を案内してほしい。(色々な外国語)でも実施する。 また、緊急ボタン等も設置して、停留所付近の緊急時であることを、周囲へ知らせる事も、大事な役目ですね。お願いします。 また、近くのお得な情報も、合わせて宣伝する。	ご提案いただきました内容を今後の参考とさせていただき、サービス向上のために努めていきます。

	理由	今後の日本には、熱中症が横行する、そのための対策をサービスの一環として出来ないかと考えました。	
4-17	意見	運転手さんに対して、福祉サービスを向上して欲しい、例えば、腰が悪くなる事が多いのではと推察するが、そのため、「腰当」や「湿布」等を提供する。また、同じ姿勢を長く取らないような対策、又は、回復するような体操を、関係する大学などから、案を頂き時を定めて、実施をする事により、健康的に運転業務を行うことが出来ます。 安心安全の対応で、例えば、(飲酒)のアルコール度チェック装置をハンドルに付けて置くことにより、それを表示することにより、お客様への安心に繋がり、運転手への信頼(事故を起こさなくなる)につながるのではと考えます。 腰痛体操などを、交代時間を使って、運転手さんの体調管理をするなどです。	運転士に対してのサービス向上について、ご提案いただきました内容を今後の参考とさせていただきます。
	理由	大事な運転手さんへの、投資を行う事が大事と考えました。 例えば、何か「イライラ」することがあり、前日、深酒をして、運転当日、「眠気」を生じさせることがあると、大事故へとつながります。そのような事に対して、自分を律することが出来るように、対応をすることが必要と考えます。 飲酒の影響などの講演などを時々、行うなど検討してほしいです。	
4-18	意見	バスの始発箇所ある、天王台ある、バス終点箇所(車庫)を、一般のお客様に時(年1～2回程度)を定めて、解放をお願いしたい。 それが、良くなると、今のバスのそこからの出発や終点の移動に対して、周りの一般の乗用車の運転手は、(公共交通機関へ)もっと、優しくなるのではと考えます。 もっと、自分たちの所をアピールして欲しい。	ご提案いただきました案について、民間路線バス事業者が行うサービスになるため、ご意見があった旨を運行事業者にお伝えします。

		ここだけではない、運転手さんの交代場所(交代休憩箇所)を市内のところに作って欲しい。	
	理由	公共交通機関(バス)が乗る事が楽しくなるように、今以上に、楽しんだアイデアを提出してほしい。 運転手さんが、楽しんで運転(仕事)をするようにして欲しい。	
4-19	意見	運転手さんへの資格に、追加してほしい事は「運転時の介護」についてです、今後、ますます、「高齢化のお客様」が増えることが推測されます。その時に、ただ見ているだけの運転手さんではなく、状況をみて、的確に対応が出来る運転手さんに『変身』をさせて頂きたいのです。安心して、公共交通機関のバスに乗車できるのではと考えます。信頼が、乗車率の向上につながるのではと考えます。	現在、バスの運転士は車いすの方が乗降する際に補助するなど、乗降が難しい方へ必要に応じた対応を行っています。 引き続き誰もが利用しやすい公共交通として努めていきます。
	理由	観光地に行ったときに、バス会社の運転手さんや、または、近頃、観光タクシー等の運転手さんは、お客様への色々な気遣いをしていました。 街中の公共交通機関のバスの運転手さんも、同様なことが出来るのではと考えました。(そのため料金は少し上がるかもしれませんが?) 運転手さんが楽しんで、仕事をしていかなければ、乗客は増えないのではと感じています。	
4-20	意見	色々なアイデアは、毎日、直接お客様をみている、「運転手」さんも、よいアイデアをお持ちではないでしょうか?例えば乗車してくるお客様たちの話声などから、集客への「良いアイデア」等が記録に、いや記憶にあるのではと考えます。社員総出で、アイデアを出し合うことも必要であると考えます。今までやっているのかもしれませんが、もっと、多くのアイデアを出して、検討し	ご提案いただきました内容を今後の参考とさせていただき、サービス向上のために努力を継続していきます。

		て、実験的に行ってください。それら施策を見た(努力をしている)中で、例えば、「あびバス」への料金値上げなどに、苦情的な言葉が出なくなるのではと考えます。	
	理由	例えば、先日、公共交通機関のバスでありながら、終点時に、それも、成人の乗客を乗せたまま、車庫に入ってしまった。最終時にバス内の点検をしていなかったことが、ニュースになりました。このことは、簡単に、運転手さんが、始発には、全体の外側をみて、車内のなかの状態を確認する癖を(・・・チェック確認)つけることで、無くなります。すぐに監視 TV(他人が)見る事です。運転手交代時または、終点時車庫に入れる前に、車内の残り物の有無などの確認を行い、【自分の自家用車と同様に】車内の確認や車体の外側を確認することが必要です。すぐに他の方が、監視 TV でも視覚確認をすると、『漏れ』防止へと繋がります。・・・より安全へと、そのようにできるのではないかと考えまして、提案をさせて頂きました。 ※確認行為を、今はやりの AI をお願いをしても良いと思いますが人件費削るためですね。色々とやり方はあります。 料金を上げる前に、色々と、対策を打ってください。お願いします。	
5-1	意見	いかに移住者を増やして活性化をはかるかがカギになると思う。	いただいたご意見について、我孫子市が住みやすい街となるための1つとして公共交通の利便性向上を掲げていますので、今後も市民ニーズを把握し、利用しやすい公共交通を形成していくために、今後も取り組んでいきます。
	理由	江戸川区では、以前は新小岩・錦糸町あたりは治安の悪い所であった。私自身、江戸川高校に勤めていた頃、江戸川高校もそんな街中にあり定時制の頃は大変だったときいている。しかし、今日、江戸川区はクリーンな街になり江戸川高校もまじめな子が通学するようになっている。それは江戸川区が子育て世代にさまざまなサービスを提供し、若い健全な世代が移住するようになっ	

		たからである。流山市も言うまでもなくテレビで注目をあびているほどに若い世代の住みたい街ランキング上位を占めている。我孫子市も豊かな自然、広い土地、通勤圏をアピールして移住者を増やすべき取り組みをもっとはでにしてみるのもいかがかと考える。	
6-1	意見	成田線の本数を増やしてほしい。 沿線の駅に特色を持たせ「ぶらり成田線の旅」として「観光の目玉」にしてはどうか。	上位計画の総合計画で、成田線の1日の往復本数を令和2年度の現況値40本を令和9年度には42本とする目標値を掲げています。
	理由	このままでは 成田線沿線の街がどんどん過疎化し、我孫子市全体の人口も減ってしまう。開業124年の歴史ある成田線にもっと光を当てましょう。	
6-2	意見	路線バスを我孫子駅からアリオ柏まで延ばしてほしい。	ご提案いただきました案について、民間路線バス事業者が行うサービスになるため、ご意見があった旨を運行事業者にお伝えします。
	理由	いつもアリオまでのシャトルバスが長蛇の列で本数も少ない。	

7 内容の修正について

今回寄せられたご意見による修正はありません。今後、我孫子市地域公共交通協議会（構成員は、我孫子市・学識経験者・公共交通事業者・国土交通省関東運輸局千葉支局・市民代表等の計23名）で協議し、決定します。

なお、寄せられたご意見については、公共交通の利便性向上を図る際の参考とさせていただきます。

8 担当 我孫子市役所 交通政策課 公共交通係

TEL：04-7185-1111（内線20-330）